

2026 年度入学 保健学研究科 臨床心理学専攻 2 月入試

【設問 1】

<出題意図>

本専攻は公認心理師となるために必要な科目を開講しており、未来の心理専門職を養成している。そのため、本問の出題は心理専門職としての役割を担うために必要な基礎的な知識、基礎的な技能の到達度を確認することを目的としている。

<問題と解答例>

下の問い（問 1～15）に答えなさい。

問 1 行動主義心理学と最も関係の深い人物として、正しいものを 1 つ選びなさい。【正解 2】

- ① K. Lewin
- ② J. B. Watson
- ③ M. Klein
- ④ A. T. Beck
- ⑤ W. Wundt

問 2 睡眠に関する記述として、誤っているものを 1 つ選びなさい。【正解 4】

- ① 逆説睡眠は脳が覚醒状態にあり、レム睡眠と同様の状態を意味する。
- ② レム睡眠時には、全身の骨格筋の緊張が低下し、休息している。
- ③ レム睡眠は浅い眠りの状態であり、夢を見ることが多い。
- ④ ノンレム睡眠とレム睡眠は、約 45 分の周期で出現する。
- ⑤ サーカディアンリズムとは概日リズムともいい、加齢によって影響を受ける。

問 3 ストレス反応やストレスコーピングに関する記述として、正しいものを 1 つ選びなさい。

【正解 2】

- ① 甲状腺から分泌される甲状腺ホルモンは、細胞の代謝を抑制する。
- ② 身体的ストレス反応には、交感神経系と副交感神経系の両方が関わる。
- ③ H. Selye の汎適応症候群は、「警告反応期」「抵抗期」「回復期」の 3 段階に分けられる。
- ④ 解決が困難な事態では、情動焦点型コーピングよりも問題解決型コーピングの方が有効である。
- ⑤ 慢性的なストレス反応には、情動焦点型コーピングによる改善は望めない。

問 4 産業分野における職場復帰支援に関する記述として、正しいものを 1 つ選びなさい。【正解 2】

- ① 復職の際には、産業医による復帰可能の診断書を主治医に提出することが必要である。
- ② 休業を開始する際は、経済的不安を抱える人も多く、傷病手当金など経済的保障について説明する。
- ③ 復職のタイミングについては、労働者本人と心理職の 2 者で決定する。
- ④ 心理職は、復帰を焦る労働者の気持ちを否定し、安心させるように努める。
- ⑤ 職場復帰の最終的判断は、主治医が行う。

問5 合理的配慮に関する記述として、誤っているものを1つ選びなさい。【正解3】

- ① 意思決定が困難な学生への合理的配慮は、意思表明のプロセスを支援することが重要である。
- ② 試験の際、書字障害のある生徒にパーソナルコンピューターの使用を認めることは合理的配慮といえる。
- ③ 合理的配慮の対象は、障害者手帳を持っている人に限られる。
- ④ 合理的配慮は、障害がある者の社会的障壁を取り除き、日常生活および社会生活で制限を受けることがないようにする目的で行われる。
- ⑤ 合理的配慮によって取り除かれるべき社会的障壁には、障害者に対する偏見も含まれる。

問6 向精神薬とその副作用の組み合わせで、誤っているものを1つ選びなさい。【正解5】

- ① 非定型抗精神病薬 — 体重増加
- ② 選択的セロトニン再取り込み阻害薬<SSRI> — 賦活症候群
- ③ 炭酸リチウム — 甲状腺機能低下症
- ④ メチルフェニデート — 食欲低下
- ⑤ ベンゾジアゼピン系抗不安薬 — アカシジア

問7 各種心理検査・知能検査に関する記述として、正しいものを1つ選びなさい。【正解1】

- ① MASの不安尺度は、MMPIから不安に関する質問項目を抽出して作成された。
- ② TATは、未完成の文章を刺激としており、言語連想検査から派生した投影法検査である。
- ③ バウムテストは、K. Kochがうつ病の診断を目的に開発した。
- ④ S-M生活機能検査は、作業曲線から被験者の作業能力やパーソナリティを判定する。
- ⑤ WAISは個別式知能検査であり、対象年齢は5歳から15歳である。

問8 児童福祉施設に関する記述として、誤っているものを1つ選びなさい。【正解5】

- ① 児童福祉法には、児童福祉施設として児童養護施設、児童心理治療施設、幼保連携型認定こども園などが定められている。
- ② 母子生活支援施設は、母子ともに施設に入所することが前提となっている。
- ③ 児童自立支援施設は、不良行為を行った児童の自立を支援し、退所した者について相談も行う。
- ④ 一時保護所は、児童相談所に付設しており、保護が必要な子どもを一時的に保護するための施設である。
- ⑤ 自立援助ホームは、18歳から25歳までの家庭にすることができない人が入所をして、自立を目指す施設である。

問9 言語発達に関する記述として、誤っているものを1つ選びなさい。【正解1】

- ① 生後すぐの新生児には、喃語と呼ばれる発声がみられる。
- ② クーイングと呼ばれる発声がみられるのは、生後2～4か月である。
- ③ 母語以外の音を弁別する力は、生後10～11か月頃に弱くなる。
- ④ 初めて話す意味のある言葉は初語と呼ばれ、概ね生後12か月頃にみられる。
- ⑤ 単語を2語つなげて発話する二語文は、14か月～24か月頃にみられる。

問 10 犯罪被害者等基本法に関する記述として、誤っているものを1つ選びなさい。【正解4】

- ① 犯罪被害者等施策推進会議は、内閣府に設置され、犯罪被害者等基本計画の案を作成する。
- ② 犯罪被害者等が心理的外傷から回復できるよう、適切な保健医療サービスや福祉サービスを提供する。
- ③ 法の基本理念は、個人の尊厳が重んじられ、それにふさわしい処遇が受けられること、必要な支援が受けられることである。
- ④ 内閣府は、被害者支援センターを各都道府県に設置している。
- ⑤ 犯罪の定義は、「犯罪及びこれに準ずる心身に有害な影響を及ぼす行為をいう」と記されている。

問 11 学校におけるいじめ問題への対応として、誤っているものを1つ選びなさい。【正解4】

- ① 人間関係が原因で心身の異常や変化を訴える場合、いじめという表現ではなくても、重大事態が発生したとして報告・調査にあたる。
- ② いじめへの対応は、学校内におけるいじめ防止対策組織がチームで行うことが必要である。
- ③ いじめの事実関係が確定した段階ではなく、いじめの「疑い」が生じた段階で重大事態としての対応を開始する。
- ④ スクールカウンセラーがいじめの相談を受けた場合、生徒から同意が得られない限り、管理職への報告は控える。
- ⑤ いじめの問題には、地域社会や家庭との適切な連携をとることが重要である。

問 12 統合失調症の特徴的な症状を1つ選びなさい。【正解5】

- ① 不合理であると理解しているにもかかわらず、打ち消すことができない思考が反復的に浮かぶ。
- ② 自分は特別だと思い、気分が高揚し、何でもできると確信する。
- ③ 次から次に考えが浮かび、会話が移り変わりまとまらない。
- ④ 逃げられない空間にいることを怖く感じ、避ける。
- ⑤ 誰もいないのに自分の悪口を言っている声が聴こえる。

問 13 記憶に関する記述として、誤っているものを1つ選びなさい。【正解3】

- ① 泳ぎ方や自転車の乗り方は手続き記憶であり、これにより自動的な行動が可能になる。
- ② 宣言的記憶は、陳述記憶とも呼ばれ、これにはエピソード記憶や意味記憶が含まれる。
- ③ 意味記憶は体験することによって記憶が定着し、エピソード記憶は反復によって記憶が定着する。
- ④ 顕在記憶と潜在記憶は、想起時の意識の有無が異なる。顕在記憶は意識が必要であり、潜在記憶は意識を必要としない。
- ⑤ 手続き記憶と意味記憶は加齢の影響を受けにくい。

問 14 精神力動療法に関する記述として、正しいものを1つ選びなさい。【正解2】

- ① 不安をあるがままに受け止め、不安が引き起こす症状の意味や内容を解釈しない。
- ② S. Freud は患者に外傷体験を想起できるよう催眠療法とカタルシスを併用して治療を行った。
- ③ 現実とは言語を通じての社会的交流を通じて構成されるという世界観に基づいている。
- ④ 中心概念の1つとして、人類に共通して備わっている、個人の経験を超えた集合的無意識がある。
- ⑤ 心身一元現象に基づいて、言葉ではなく動作を治療の媒体とするのが特徴である。

問 15 カウンセリングの終結の際に行う心理職の対応として、誤っているものを 1 つ選びなさい。【正解 3】

- ① 終結によってクライアントに様々な感情が生じることは自然なことであり、カウンセラーはその気持ちを受け止めるように努める。
- ② 終結までのプロセスについて考え、心理職が見解を伝え、クライアント自身が振り返る作業を促す。
- ③ 終結の時期については、クライアントが 1 人で決めることであり、カウンセラーは極力意見を伝えない。
- ④ 今後、同様の問題が生じたときにクライアントが実施できそうな対処について話し合っておく。
- ⑤ 終結を迎える際には、クライアントの問題や状態を考慮し、何かあればまた来談できることを伝える場合がある。

【設問 2】

<解答例>

著作権の関係により、公表いたしません。

<出題意図>

本専攻では、特定課題の研究報告、あるいは、修士論文の提出が修士号取得の要件の一つとして、いる。そのため、研究を進めていくのに必要な論文構成についての基本知識、並びに、英語で書かれた論文の内容を正確に理解する力を問うことを目的としている。

【設問 3】

<解答基準>

- ・ 自己理解の心理支援における意義について記述されているか
- ・ 自己省察の重要性や心理職としての役割について記述されているか
- ・ 臨床心理学的視点での影響について記述されているか
- ・ 文章が論理的に構成されており、誤字、脱字等がないか

<出題意図>

心理専門職に求められる知識、技能、姿勢等の理解度を測るとともに、それを臨床実践と結びつけて具体的に活用するための基礎的な力を有しているかを確認することを目的としている。